



各 位

会社名 秩父鉄道株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大谷 隆 男
 (JASDAQ・コード 9012)
 問合せ先 取締役執行役員総務部長 武 部 一 弘
 (TEL 048 - 523 - 3311)

2020年3月期 通期連結業績予想値と実績値の差異、
特別利益及び特別損失並びに法人税等調整額（損）の計上に関するお知らせ

2019年11月14日に公表いたしました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）通期連結業績予想値と本日公表の実績値との差異、特別利益及び特別損失並びに法人税等調整額（損）の計上につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期 通期連結業績予想数値と実績値の差異

(2019年4月1日～2020年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	5,600	250	240	180	121.12
実績値 (B)	5,449	217	203	△222	△150.06
増減額 (B-A)	△151	△33	△37	△402	
増減率 (%)	△2.7	△12.9	△15.4	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	5,216	73	66	103	69.73

(差異が生じた理由)

当連結会計年度において、一部の固定資産が収益性の低下等により減損の兆候が認められたことから減損損失として特別損失を計上いたしました。

また、翌年度の業績動向を踏まえ繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当期において繰延税金資産の取崩しが発生し、また、受取補償金に係る税金相当額を繰延税金負債に計上したことなどにより、同額を法人税等調整額として計上いたしました。

その結果、営業利益は217百万円、経常利益は203百万円となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想180百万円の利益から402百万円減少し、222百万円の損失となりました。

2. 特別利益及び特別損失の計上の内容

特別利益については、安全対策工事などに係る国および地方自治体等からの補助金等を131百万円補助金受入額に計上いたしました。また、地方自治体による踏切道拡幅工事の負担金58百万円を工事負担金等受入額に計上したほか、三ヶ尻線の一部廃止に伴う受取補償金を781百万円計上いたしました。

特別損失については、補助金および工事負担金等により取得した資産の取得原価から、当該補助金および工事負担金等相当額を直接減額した金額186百万円を固定資産圧縮損として計上し、三ヶ尻線

一部廃止に伴う撤去工事見積り額 658 百万円を資産撤去引当金繰入額に計上いたしました。また、バス事業や賃貸施設（遊休資産）等の一部の固定資産について減損の兆候が認められることから、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、減損損失 270 百万円を計上いたしました。

3. 法人税等調整額（損）の計上の内容

新型コロナウイルス感染症の流行等による翌年度の業績動向を踏まえ繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当期において繰延税金資産の取崩しが発生し、また、受取補償金に係る税金相当額が繰延税金負債に計上したことなどにより、同額を法人税等調整額として計上いたしました。

その結果、法人税等調整額（損）は 261 百万円となりました。

以 上